

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【公開番号】特開2016-125878(P2016-125878A)

【公開日】平成28年7月11日(2016.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2016-041

【出願番号】特願2014-265907(P2014-265907)

【国際特許分類】

G 01 N 1/00 (2006.01)

G 01 N 30/04 (2006.01)

【F I】

G 01 N 1/00 1 0 1 G

G 01 N 30/04 P

G 01 N 30/04 A

G 01 N 1/00 1 0 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月7日(2017.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

実施形態では、前記内標13は水系溶液中の目的対象成分に含まれていない成分であり、物性が似てあり、定量目的成分に近い位置で溶出し、高純度な成分である必要があり、実施形態ではフルオロベンゼンと1,4-ジオキサン-d8、トルエン-d8とp-ブロモフルオロベンゼンの4成分を使用している。

このうち、フルオロベンゼン、トルエン-d8、p-ブロモフルオロベンゼンは、検出器の感度の補正を図り、1,4-ジオキサン-d8は1,4-ジオキサンの補正を図るようにしている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

前記水系溶液16はVOC成分を含む水等を使用し、内標13としては水系溶液中の目的対象成分に含まれていない成分であり、物性が似てあり、分析対象成分に近い位置で溶出し、高純度な成分である必要があり、実施形態ではフルオロベンゼン、1,4-ジオキサン-d8、トルエン-d8、p-ブロモフルオロベンゼン等を使用する。

このうち、フルオロベンゼン、トルエン-d8、p-ブロモフルオロベンゼンは、検出器の感度の補正を図り、1,4-ジオキサン-d8は1,4-ジオキサンの補正を図るようにする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

前記フルオロベンゼン、p-ブロモフルオロベンゼン、トルエン-d₈は回収率が高い成分で、ページを行なうことによって略全量が揮発しトラップ管25へ吸着される一方、1,4-ジオキサン-d₈は親水性が高く回収率が低い成分であるため、ページを行なってもトラップ管25へ吸着される割合が低い。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0051】

この後、ニードル14を容器17から引き抜いて排出容器18内へ移動し、第1,2,7切換弁20,21,41と内標導入弁8を図2の実線のように切換え、内標導入弁8と内標導管9を連通する。

そして、不活性ガスを加圧ガス導管12へ送り込み、該ガスを内標収納容器11へ導入して内標13を内標導管9へ押し出し、これを内標導入弁8へ導いて溝孔8aに導入し、導入後の余剰分を排出容器10へ排出する。この状況は図2のようである。